



## 仲村優一先生の 寄贈資料について

助川 征雄

このたび、仲村優一先生（元日本社会事業大学学長）から寄贈された資料（図書）の整理が完了しましたのでご紹介します。今回のご寄贈は、先生の旧友である加藤恵司先生の仲介によるもので、多岐にわたる資料の中から、1年半の時間をかけ、主に人間福祉に関する書籍を重点に選書させていただきました。先生ご自身の書き込みのある書籍も少なくありません。それらは、古典的なものから最近のものまで、多岐にわたり、先生のご探求の足跡や業績の裏付けをうかがい知ることができます。

仲村先生は、昭和24年に東京大学経済学部をご卒業の後、日本社会事業学校研究科（後の社会事業大学の前進）をご卒業になりました。その生涯業績は多岐にわたりますが、先生は特に、「ソーシャルケースワーク」の紹介や福祉人材育成に力を注がれました。同時に、「公的扶助研究会」を軸に、「公的扶助ケースワーク」の制度的な確立をめざすなど、第二次世界大戦後の日本の社会福祉政策と福祉人材教育に大きな足跡を残されました。私事ながら、昭和40年代に、明治学院大学でうかがった先生の「ケースワーク」の授業が懐かしく思い出されます。先生のご健勝をお祈りしつつ、皆様のご活用をお願いします。

（人間福祉学部人間福祉学科教授）